

健幸な体と心のためにできること

健やかで幸せな心身は自分でつくる。その手助けとなれるような情報を発信していきます。

三好市役所 保険医務課
電話 72-7613

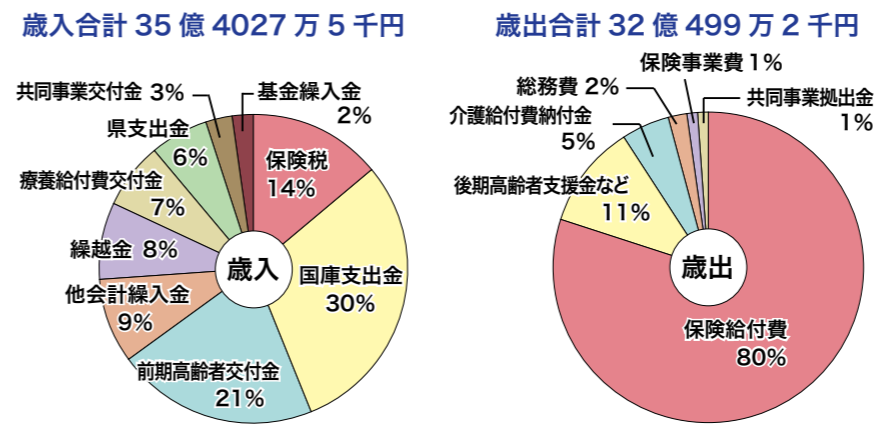
膨らみだした保険給付費 国民健康保険の財政

今月は、国民健康保険の財政状況（決算）についてお知らせします。国民健康保険は国民皆保険の中核を担う医療保険です。病気などに備えて、加入者で費用を出し合い、医療サービスの提供を行っています。

歳入の状況

加入者の皆さんに納めていただいている国民健康保険税の歳入に占める割合は14%です。（保険税参照）
国や県も負担金や補助金を交付しており、歳入の36%を占めています。（国庫支出金・県支出金）
保険者間や制度間の格差緩和や国民健康保険者の運用安定のための交付金は31%を占めています。（療養給付費交付金・前期高齢者交付金・共同事業交付金）
繰入金の中には、国民健康保険の加入者の負担軽減のため、一般会計やそれまで積み立ててきた基金からそれぞれ7千万ずつ繰入を行ってきています。歳入に占める割合は11%です。（他会計繰入金・基金繰入金）

三好市の歳入と歳出のグラフ

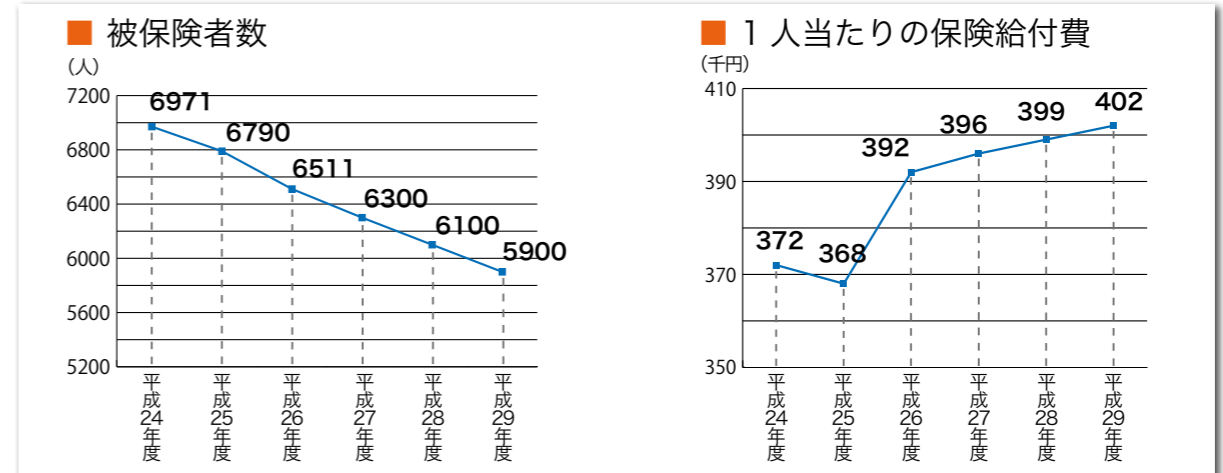


歳出の状況

保険給付費は、被保険者の皆さんが医療機関の窓口で支払う自己負担分を除いた費用を保険者（三好市）が保険医療機関に支払うものです。歳出に占める割合は80%となっています。

後期高齢者支援金などは、「後期高齢者医療制度」の発足に伴い自己負担額・公費負担額などを除いた約40%に相当する額を各医療保険者がそれぞれ加入者数に応じて負担するもので11%を占めています。
介護給付費納付金は、介護保険の40歳から64歳までの加入者「第2号被保険者」の方に、健康保険税とともに介護納付金を納めていただき、各医療保険者が納付するもので歳出の5%を占めています。

国民健康保険特別会計の歳出の大半を保険給付費が占めています。三好市の国民健康保険に加入されている被保険者は年々減少しているにもかかわらず1人当たりの医療費は上昇傾向にあり、三好市の国民健康保険の財政状況は、非常に苦しくなってきました。
市が実施している特定検診をはじめとする各種健康診断を受診したり、24時間無料電話健康相談（0120-3444169）を利用するなど、健康づくりに取り組み、加入者一人一人が医療費抑制に努めましょう。



※ 被保険者数、1人当たりの保険給付費のグラフについて、平成24～26年度は、決算。27年度以降は、推計となっております。

市と市医療機関との連絡協議会を開催

5月22日三好市役所において、健康な市民の生活を守るため市と市医療機関との連絡協議会が行われました。挨拶に立った黒川市長は、市民のニーズに応えながら医療の均等な確保および健康の保持増進に努めることの重要性や、4月1日から施行されている「健幸づくり条例」について、自分のことは自分でできる健康寿命（三好市・男74歳、女81歳）をいかに伸ばすか。健幸のまち・三好市の実現を目指すことを目的とした条例制

私たちの大切な地域医療を守るために
住民・医療者・行政が一体となり、「地域医療」を守っていくため、様々な情報を発信します

定に至った経過を述べました。また、田岡清三郎三好市医師会長からは「三好市医師会の高齢化（市医師会平均年齢58歳）が進み、10年後には医師が減る。以前は東西祖谷・山城に5〜6軒あった民間の診療所が、今は山城に1軒だけとなった。10年後を見据えて地域医療を考えていきたい」とあいさつがありました。
市内10医療機関から医師などの出席のもと、市からは健康づくり課、学校教育課、保険医務課から特定健診・特定保健指導、予防接種、児童・生徒などの健康診断など、平成27年度の事業についての説明を行った後、「学校では生徒の携帯電話を禁止していいのかわ？」と医師からの質問に対して、学校教育課長から「基本的には持ち込み禁止。通塾生徒の保護者への連絡などの理由により学校へ持ってきてもいいが日中は職員室で預かっている」との回答がありました。
また、三好保健所からは西部圏域で実施する「自殺予防対策連続セミナー」など、自殺予防の中長期的な対策について報告がありました。

三好病院を応援する会総会を開催

5月26日三好市役所において「三好病院を応援する会」総会が開催されました。会議では、まず伊丹一夫会長が会の成り立ちについて話されました。同会は、「私たち自身の安心・安全を支える地域医療を守るために、私たちにできることから取り組まなければならない」との思いから、三好市・東みよし町の老人クラブ連合会、婦人団体連合会、身体障害者会、民生児童委員

がん患者談話会

がんと診断されている方やその家族を対象に、がんについて気になること、例えば、病気の症状・食事・医療費など、気になることを勉強会や皆さんで語り合いませんか？
ミニ講習会▼テーマは一覧表を参照してください。
日時▼毎月第3木曜日 13時30分～15時
場所▼三好病院8階展望ラウンジ
対象▼がんと診断されている方やその家族
お問い合わせ先
三好病院がん診察支援センター（☎72-1131）

平成27年度 がんサロン年間予定表

日時	タイトル	担当部署
4月2日	がんを受けとめる	寺嶋先生
5月7日	化学療法について	看護師
6月4日	がんと福祉サービス	地域連携
7月16日	お薬の話	薬局
8月20日	食事の話	栄養科
9月17日	放射線の話	放射線
10月15日	リハビリの話	理学療法士
11月19日	検査の話	臨床検査技師
12月17日	がんの痛み	認定看護師
1月21日	皮膚排泄ケア	認定看護師
2月18日	緩和ケア看護	認定看護師
3月17日	がんは増えているの？	診療情報管理士

連絡協議会それぞれの会長が代表者となり設立された組織です。また、三好病院・住友正幸院長からは、「最新医療機器導入や緩和ケア病棟開設などによるフルセットのがん医療や災害に強い、市民に信頼される病院を目指している」とのあいさつがありました。
平成26年度事業の内容としては講演会や講習会の実施、医師官舎の清掃作業、パンフレットの作成・配付などの活動を行いました。今年の医師官舎の清掃作業は5月23日にシンマチボランティアクラブ

の方々が行いました。クラブの方々には毎年お世話になっております。
「三好病院を応援する会」の活動費は、みよし広域連合からの三好地区広域振興事業費補助金により運営しております。

